

異文化コミュニケーション学科の外国語選択について

国際コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科
関連科目担当教員一同

国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科への合格おめでとございます。本学科では、異文化理解と世界各国の文化への関心を深め、コミュニケーション力を高めるために、全員が英語およびもう一つの外国語の 2 言語を学ぶことになります。**中国語、コリア語、スペイン語、フランス語、ドイツ語の 5 言語から希望言語を 1 つ選択**し、英語とあわせて必修科目として履修することになります。選択した外国語圏もしくは英語圏のいずれかが留学先（2 年次前期）になりますので、**入学までの間にどの言語を選択するのかをしっかりと検討しておいてください。**

言語選択と留学のスケジュールは概ね下記のとおりです。

- 1 年次 4 月 第 1 週目 オリエンテーション期間中に「希望選択言語」を届出
- 1 年次 4 月 14 日（水）以降 授業期間の開始とともに選択した言語の科目を受講
- 1 年次 7 月頃 留学先の希望届を提出
- 1 年次後期 留学先の言語の科目をより多く集中的に学修
- 2 年次前期 留学（行き先により留学期間は異なります）
- 2 年次後期以降 選択科目として各言語を履修

特に以下の点に注意してください。

- 入学した 4 月に外国語を選択した時点で、2 年次の留学先はその言語圏か英語圏に限られます。**たとえば英語と中国語を選択したら、留学先は英語圏か中国語圏になり、その他を異文化コミュニケーション学科の留学先にすることはできませんので、**言語の選択はよく考えて行なってください。**
- 入学前にこの用紙の各言語の説明を熟読するのももちろんのこと、自主的に情報を収集し、各言語や留学先の国や町について積極的に調べて、言語選択に役立ててください。なお、留学先の機関等については、以下の言語別の説明文の中に記載されています。
- 希望選択言語の届出方法は、4 月の学科ガイダンスでお知らせします。

中国語

中国語は、世界のコミュニケーションにおいて英語の次に重要な言語です。世界の各地に多くのスピーカーがいます（日本国内だけで 100 万人近い）。最大なのは中華人民共和国で、人口は日本の約 13 倍です。中国語にはいろいろな方言がありますが、私たちは中華人民共和国で共通語とされている北京方言を基礎とする中国語（普通語）によるコミュニケーション能力の育成をめざします。

中国語は、すべて漢字で書かれていますが、現在の日本語の漢字とは相違するものが多くあります。中国語で使う漢字には 2 種類あり、日本語の漢字より簡略された形の「簡体字」と、日本でもかつて使われていた古い形の「繁体字」があります。たとえば「音楽」は、簡体字では「音乐」、繁体字では「音樂」のようになります。このうち私たちはまず簡体字を習得します。

また、漢字は一字ずつ発音が決まっています。発音のパターンは全部で 440 種余りあり、これをローマ字で表記した発音記号を習得します。漢字には一つずつイントネーション（上がったり下がったりする変化）があり、大雑把に言って、高い音のまま、低い音のまま、低い音から高い音へ、高い音から低い音へ、という 4 種類があります。このため、発音記号にはイントネーションを示す「声調記号」がつき、これを習得しなければなりません。

中国語の語彙には、日本語と共通するものが非常に多くあります。「音楽」「教室」「黒板」「運動」「発音」など、多くの単語が日本語と同じ意味です（だから発音できなくても意味がわかることが多い）。これは、日本語が中国語を大量に吸収しているからだけでなく、中国語が日本語の単語を大量に吸収しているからです。

このような中国語と中国関連科目を、三人の教授を中心に、合計十人余りの教員スタッフが教授していきます。教員スタッフは、すべて中国の言語文化系の専門家で、大学の授業のほか、研究成果の社会への発信もおこなっています（たとえば、フェイスブックあるいはブログで「専修大学土屋昌明研究室」をご覧ください）。

中国語を自分のものにしようと考える学生は、1 年次に半年で完結する 10 科目の中国語の授業を受講して基礎を固め、2 年次の前期に上海の上海大学あるいは高雄（台湾）の中山大学に留学し、2 年次後期以後、中国の言語文化関連の科目を選択して学び、ゼミで自分の専門的な研究を深めて「卒業研究」を完成させます。

中国語で築かれてきた文化や文明は、日本文化の基礎ともなっています。また最近では新しく高度な学術や文化・芸術が中国語で書かれたり語られたりしています。たとえば映画などの映像文化の世界でも、ハリウッドと競うほどに中国の製作と市場が大きな存在になっています。日本との貿易や人材交流・観光の増大など、中国語コミュニケーションの重要性と文化理解の必要性は高まるばかりなのです。

コリア語

コリア語は、朝鮮語または韓国語と呼ばれているものと同じ言語です。外国語のうちで構造がこれほど日本語と似ているものはなく、最新の研究によれば、数千年以上、両言語が大陸で隣接していた結果、他に類例のないほど文法構造が似た言語になったことがわかってきています。まず、コリア語と日本語の文の構造はどのくらい似ているか見てみましょう。

日本語	私	は	大学生	です。
コリア語	저	는	대학생	입니다.
発音	チョ	ヌン	テハクセン	イムニダ

「私」に当たる単語の後ろに「は」にあたる助詞が使われているだけでなく、「です」にあたる丁寧な形の語尾もあります。単語と発音さえ覚えれば日本語の語順に沿って置き換えるだけで簡単な会話ができるぐらいです。特に「大学生テハクセン」のような漢語系の単語はお互いに発音も似ていてすぐ覚えられます。

このように文の構造など日本語と似ている点が多い反面、文字と発音が大きく違うため導入段階で戸惑う場合が少なくありません。特に、コリア語を表記するハングルは見慣れない丸や四角を使っていて奇妙に感じられ、覚えるまで大変かも知れません。しかし、ハングルの原理は論理的で、それを理解したうえで覚えればそれほど難しくはありません。

ハングルは、子音や母音を表す記号を組み合わせて子音+母音または子音+母音+子音の一拍節ごとに一まとめに表す表音文字です。例えば、子音の[n][s]を表す「ㄴ」「ㅅ」と、母音の[a][o]を表す「ㅏ」「ㅜ」を、左右または上下に並べくみあわせると「나」「노」「사」「소」となりますが、それぞれ[na][no][sa][so]を表します。ハングルについてもっと詳しく知りたければ YouTube で「韓国語」または「コリア語」で検索してみてください。文字については何を見ても問題ありません。

異文化コミュニケーション学科におけるコリア語の履修時間は、前期に週 3 回ですが、留学先を決めた後である後期には 2 回と 5 回に分かれます。文字から学ばなければならないので授業時間が十分とは言えませんが、韓国留学を念頭に置いて密な授業を行い、韓国留学に行かない学生だとしても中級レベルまで終える予定です。

韓国におけるの留学先は延世大学とソウル大学です。ソウル大学は国立・私立通して 1 位、延世大学は私立で 1, 2 位を争う大学です。延世大学は、優秀な大学が四つも集まっいて若者の人気スポットになっているソウルの中心部にあります。ソウル大学は、ソウルの端っこではあるが、山を背景にした広大なキャンパスです。キャンパスを通して登山もできるので、一度足を運んでみる価値があります。

言語はあくまでも文化を背景にした道具です。学びやすい外国語のコリア語を学んで韓国を対象にした異文化を理解する練習をしてみてはどうでしょうか。

スペイン語

スペイン語は、フランス語・イタリア語・ポルトガル語などと同じく、ラテン語に由来する言語です。スペイン語の大きな特徴は、日本語話者にとって格別に発音が易しいという点です。日本語とほぼ同じ 5 つ（a(ア), i(イ), u(ウ), e(エ), o(オ))しか母音がなく、「子音+母音」の組み合わせが多く見られます。そのため、日本語のローマ字読みと同じになる単語が多く、発音の習得が容易です。つづり字と発音の関係も規則的ですので、学習を始めて 2 週間もあれば、ほとんどどんな単語でも正しくきれいに発音できるようになります。

現在、世界には 5 億人を超えるスペイン語の話者がいて、今世紀半ばには 7 億 5 千万人に達するという試算がなされています。スペイン（約 4600 万人）はもとより、メキシコ（約 1 億 3000 万人）やコロンビア（約 5000 万人）といったラテンアメリカ諸国など世界 20 か国の公用語となっています。スペイン語を学べば世界のいくつもの国へ旅行できたり、複数の国々の文化にじかに触れたりすることが可能になります。多国籍の言語という点では、スペイン語は、英語に次ぎ、アラビア語を凌ぐ国際語で、もちろん国連の公用語にもなっています。また、アメリカ合衆国にも数多くの話者（推定 5000 万人）がおり、アメリカ現代社会を理解する上でも今やスペイン語は無視できない重要な言語です（アメリカ自治領のプエルトリコでもスペイン語は公用語になっています）。

本学科の必修科目（1 年次前期・後期）では、スペイン語の基礎的な文法事項をひと通り理解・修得し、きちんと自己表現できる力を養うことを目標とします。留学を目指すクラス（1 年次後期）では、ネイティブ教員の授業を中心に実践力を高めることを目的としています。本学科のスペイン語科目を担当する日本人教員には、ネイティブ同様にスペイン語を操る先生方を揃えています。

スペイン語圏の中で最大の人口を有するメキシコ合衆国が本学科の留学先です。日本の約 5 倍という広大な国土を持つメキシコは、21 世紀に有数の経済大国に成長する潜在力を持つ NEXT11（ネクスト・イレヴン）と呼ばれる国の一つであり、G20 サミットの一員です。

留学先のグアナフアト大学は、グアナフアト州の州都グアナフアトにあります。ここは「メキシコで最も美しい街」と称され、学生が多く住み、文化事業に力を入れている町で、安全面においても留学に適した場所です。色彩豊かな家々が立ち並ぶこの町とその周囲には美しいコロニアル建築が多く残されています。また、グアナフアト州とその周辺には、主に自動車関連の日系企業が数多く進出しており、日本との繋がりも強い地域です。加えて、本学科では、ラテンアメリカのトップレベルの大学で、キャンパスそのものがユネスコ世界遺産となっている最高学府、メキシコ国立自治大学（1551 年創立、メキシコ市）にも留学できるチャンスがあります。

フランス語

フランス語は長らく、ヨーロッパ世界の共通語としてのステイタスを持っていました。そのために政治、外交、そして文化の面で常に重要な役割を果たしてきました。現在の世界のコミュニケーションツールは英語ですが、フランス語が重要だった時期に培われた多くの制度や文化には、今でもフランス語が息づいています。いわばヨーロッパを深く理解するための土台となる言葉だといえるでしょう。

今日でも郵便制度やオリンピック、国連の公用語、さらに料理や美術、映画といった分野はフランス語が重視されるケースが多々あります。気が付かない間に、皆さんもフランス語を耳にしています。たとえば「レストラン」や「カフェ」、「パティシエ」、「アトリエ」、「デッサン」、「モード」などはフランス語由来の言葉です。

本国だけではなく第二次世界大戦後に独立したさまざまな地域——フランコフォニーといいます——でも、フランス語は重要な役割を果たしています。とくにアフリカとカリブ地域の理解にフランス語は重要です。またカナダでもケベック州を中心に、フランス語は公用語になっています。

このように、フランス語は今でも実用的で、効力を持った言葉なのです。

フランス語はときに難しいと言われる。たしかに最初は英語との微妙な違いなどに戸惑うこともあるでしょう。けれども動詞の使い方などの最初のハードルさえクリアすれば、あとは規則性の正しさから、マスターする道は意外に平坦です。慣れてくれば、フランス語の柔らかな響きが皆さんの生活に潤いを与えてくれるでしょう。ぜひ、フランス語を話している自分の姿をイメージしてみてください。

異文化コミュニケーション学科のフランス語ではまず基礎となる言葉のしくみをひと通り習得しながら、フランス語に慣れコミュニケーション力を磨くために、ネイティブ教員の授業を中心に実践的な力を伸ばしていきます。フランス語はまず元気に声に出し、耳で覚える言葉なのです。

学科のプログラムによるフランス語圏留学では、二つの行先があります。一つはフランスのトゥーレーヌ語学センターで、トゥールという落ち着いた古都にあります。パリから特急で1時間程度のこの街は、フランスの庭と呼ばれるトゥーレーヌ地方の中心地です。この地方のフランス語はアクセントなどのクセがなく、もっとも美しいフランス語といわれます。街を流れるロワール川沿いには現在も数多くの古城が残っていて、フランスの歴史と共に歩んできた由緒ある街で、フランス語とフランス文化を学ぶには最適の留学先です。

もう一つはカナダのマギル大学です。学校のあるケベック州の公用語はフランス語で、ここでは英語研修の友人と一緒にフランス語を磨くことができます。

このチャンスに、皆さんの世界を広げるフランス語にぜひトライしてください。

ドイツ語

A アー、B ベー、C ツェー…どこかでお聞きになったことがあるかもしれません。そうです、ピアノやギターに触れたことがある方なら、音階やコードの名前でおなじみですね。つまりドイツ語のアルファベートの4分の1くらいを、すでに知っているわけです。英語にも日本語にもない文字が4つほど加わりますが、おおむね同じです。ただ音階の読み方からもわかるように、発音は全然違います。

All でも Apfel（リンゴ）、April でも、a は [a]です。単語の中での読み方が、そのまま文字の名前になっているのですね。

文法はどうでしょう？ よく「ドイツ語は定冠詞の変化が難しい」と言われますが、例えば「そのお父さん」der Vater は主語になるときの形で、直接目的語「そのお父さんを」なら den Vater、間接目的語「そのお父さんに」なら dem Vater という具合に、名詞 Vater の文の中での役割が、前に付いている定冠詞の語尾変化（**der**、**dem**、**den** など）に現れています。日本語の格助詞「が、を、に」と同じような機能を果たしているわけです。これは、学習者にとって、とても分かりやすい利点です。

でも、とっつき易さ、わかりやすさだけでは、選択の基準にはなりませんね、ドイツ語を学んだら、何があるのでしょうか？ ドイツ（語）を選択すると、二年次の前期にドイツ中部の大都市**ライプツィッツヒ**で、ドイツ語力を伸ばし、日常生活に差し支えないレベルまで到達する計画ですが、クラシック音楽に親しんでいる方（ゲヴァントハウス、トーマス教会合唱団）以外、この都市の名前すら聞いたこともない方も多いでしょう。ライプツィッツヒは、旧東ドイツでは、いわゆる東欧圏の「文化のショーウインドー」、1989年の再統一運動時には市民運動に主導的な役割を果たした「英雄都市」、2015年には歴史に名前が登場してから1000年を祝い、現在でも多くの「メッセ（見本市）」が開かれる流通や経済の中心都市という顔もあります。ザクセン州の州都ドレスデンや、専修大学の提携大学のひとつマルティン・ルター大学のあるハレやヴィッテンベルク、デザインなどで有名なバウハウスのあるヴァイマールやデッサウ、ドイツ連邦共和国の首都ベルリンも遠くありません。つまりドイツ語を学ぶこと以外にも、多くの可能性があるわけです。

ドイツを、ドイツ語を大学で学べるのは今しかないかもしれません

英語プレイズメントテストについて

英語プレイズメントテストが4月1日（木）のオリエンテーション時に実施されます。1年次に履修する専門英語科目のクラス分けにテストの結果が使用されます。オリエンテーション時にコンピュータ端末室に誘導されますので、そこでプレイズメントテストを受験します。テスト時間はガイダンス、サンプル問題、本試験合わせ、最大で60分です。自動採点システムにより受験後、結果を確認することができます。

コンピュータを使用しインターネット接続によるオンラインテストでヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) 準拠のスコアにより、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能に加え、文法力や語彙力の総合点を測定、自分の英語スキルの強弱が確認できます。

英語プレイズメントテストは受験者の解答によって次に受ける問題が変化していくアダプティブ方式のテストで、スピーキング力も含めた総合的な英語力を測定します。多岐にわたる出題をオンラインで自動提示するテスト方式のため、回答の正誤に応じて問題形式が変わります。選択問題、穴埋め問題、誤文訂正問題、読解問題、会話聞き取り問題、会話書取り問題、描写問題、復唱問題、画像選択問題など、多岐にわたる問題が出題され、受験者のレベルを精密に把握していくことで、より正確な英語力を測定することができます。

受験時に、約10分間のガイダンスがあります。ログイン、パスワードの確認、音声やマイクなどの機器チェックの後、サンプルテストを受けてください。前述の多岐にわたる問題が出題されますので、それに答え、問題形式を確認してください。サンプルテストの後、続けて約30分の本試験を受験します。

本試験での問題は飛ばさず、急がずにしっかり答えて進める様にしてください。重要なのは、多数の問題数をこなすことではありません。問題にしっかり答えて正答率を上げることが好成績を上げる鍵になります。スピーキングでは、しっかり声を出し、滑舌良く答える様にしてください。囁く様な声や、ボソボソ話す様な声だと、採点されないことがあります。試験が終了したら、スキルプロファイルを見ながら、自己診断し、試験結果を確認します。